

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社星野リゾート					
代表者名	氏名	十川 隆	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県北佐久郡軽井沢町長倉2148					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	75 宿泊業				
主たる事業の概要	軽井沢町にてホテルプレストンコート及び星のや軽井沢の運営を行っている					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,848	2,700	2,135	2,481	2,112
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5,627	5,340	4,308	4,993	4,269
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	50		50	52	52
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	46				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧可能場所：株式会社星野リゾートYオフィス 可能時間：10:00～16:00 担当部署：軽井沢FMユニット 連絡先：050-3538-1757
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

各営業現場の担当者が責任をもってエネルギー使用機器の管理を行うこととする。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

軽井沢FMユニットユニットディレクターを温暖化対策責任者として、エネルギー管理より徹底する。
計画書提出担当者を同ユニットから選任し、管理体制を強固なものとしている。
実際に管理を行う各部署へのサポートを行い、エネルギー使用の適正化をより深く進めることとする。

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

月1回定例実施しているFM会議でエネルギー使用実績報告を行い、前月のエネルギー使用についての振り返りをタイムリーに実施する。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,627	t-CO ₂	売上金額	10.37	単位	千万円
2019年度	調整後排出量	5,627	t-CO ₂	基準原単位	542.41	t-CO ₂ /	千万円
目標年度	目標排出量	5,340	t-CO ₂	目標原単位	515.29	t-CO ₂ /	千万円
2022年度	目標削減率	5.10	%	目標削減率	5.00	%	
目標設定に関する説明	5パーセントの削減を目標に対策を進める						
第一年度	排出量	4,308	t-CO ₂	売上金額	9.26	単位	千万円
	削減率	23.44	%	原単位	465.13	t-CO ₂ /	千万円
2020年度	調整後排出量	4,308	t-CO ₂	原単位削減率	14.24	%	
	削減率	23.44	%				
排出量等の増減理由	使用量減少を上回る売上額大幅減少のため原単位の悪化が見られた						
第二年度	排出量	4,993	t-CO ₂	売上金額	10.07	単位	千万円
	削減率	11.26	%	原単位	496.08	t-CO ₂ /	千万円
2021年度	調整後排出量	4,993	t-CO ₂	原単位削減率	8.54	%	
	削減率	11.26	%				
排出量等の増減理由	売上金額の回復により、原単位の改善につながった。						
第三年度	排出量	4,269	t-CO ₂	売上金額	10.50	単位	千万円
	削減率	24.13	t-CO ₂	原単位	406.57	t-CO ₂ /	千万円
2022年度	調整後排出量	4,269	t-CO ₂	原単位削減率	25.04	%	
	削減率	24.13	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	温泉施設の運用を改善することで、使用エネルギー量の削減ができた。加えて入客数の増加により売上金額の回復も加わり、原単位の改善につながった。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	46	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110203	熱源設備を高効率設備へ更新	2021～ 2022	100		
2	エネ起	110201	空調機器運転管理体制の再構築	2020～ 2021	10		
3	エネ起	150201	照明器具のLED化	2021～ 2022	10	2021～ 2022	10
4	エネ起	110401	温泉の湯張り運用の最適化			2021	30
5	エネ起	110402	温泉源泉の流量管理の最適化			2021	2
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
小水力発電設備	KW	150	0	150	150	150

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	4	5,627	4	4,308	4	4,993	4	4,269
合計	4	5,627	4	4,308	4	4,993	4	4,269

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				12
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	12
自動車総数	50	50	52	52
次世代車導入割合				23.1

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	
自転車の利用促進	事業所内の移動は交通混雑緩和のために自転車利用を推奨しています。
来客者の交通対策	
物流の合理化	

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

星のや軽井沢では水力発電及び地中熱エネルギー利用、温泉配湯熱回収設備を使用し、敷地内から得られるエネルギーを有効活用しています。